

平成 30 年度 第 4 回 洛西 NT アクションプログラム推進会議（要点整理）

サブセンターの現状と課題

■会館の利用状況

- ・サークル、文化活動の場になっている。
- ・夜は塾としての利用もされている。
- ・竹の里は運動のできる場所が提供されている。
- ・もっと気楽に行ける場所になってほしい
- ・利用率の低下

■広場利用の低下

- ・積極的に使われてはいない
- ・子供・若者の利用がすくない。
- ・日常的に使われていない

■商店の魅力低下

- ・最近買い物がいけない
- ・魅力的な店舗がない
- ・業種に偏りがある
- ・飲食機能の不足。

■情報発信不足

- ・情報発信、PR が足りていないのではないか
- ・通りから見えやすい看板がない

■施設の老朽化・イメージダウン

- ・施設が老朽化
- ・閉鎖的なイメージ
- ・人がいるイメージがない。活気がない

■駐車場の不足

- ・無料の駐車場が少ない

■多様な主体・多様な活動

- ・境谷ではこども食堂が実施されている。
- ・経済短大の学生が、マルシェでクッキーの販売に来ている。

■取組み主体の必要性

- ・何をすることも言い出しっぺが必要であり、さらに応援する人が必要

サブセンターの今後に対する提案

■会館の利用促進

- ・調理もできる居場所として利用
- ・飲食での利用がしやすいルールづくり
- ・指定管理者制度を導入し、民間のノウハウで運営
- ・インターネットで利用申し込みできるなど、もっと気楽に使えるように
- ・トイレの改修
- ・パブリックビューイングの実施

■商業機能の充実

- ・店舗のシャッター前や空き店舗を利用して、一日だけの若者が出店できるようなマルシェができれば活性化につながるのではない
- ・日替わりで運営できる店舗をつくる
- ・スーパーがない場合、コンビニを導入することで補完する。
- ・駄菓子屋があれば子供が来る

■飲食機能の充実

- ・一杯飲める場所があればよい。
- ・ワンコイン程度の食堂や、お酒が飲める場所が欲しい。

■学生と地域との関係性構築

- ・小・中学生の自習スペースにしてはどうか
- ・中学生が放課後に地域の方々と触れ合える場にしてはどうか
- ・高校生や大学生に活性化のアイデアを募集してはどうか

■新たな機能導入

- ・コワーキングスペースや、ビジネスの場、活動団体のオフィスなどに活用してはどうか
- ・道の駅のような機能を持たせてはどうか
- ・ベンチャー企業などにサブセンターを丸貸ししてはどうか

■取り組む主体の育成

- ・若い人のチームを作る。そのために、人が集まるためのお酒を飲みながら仲間づくりのできる場をつくる。

■広場の積極的活用・イベント実施

- ・お酒を呑めるイベントを仕掛ければ若い方や年配の方も集まるのではないか
- ・広場を起点にしてサブセンターの特徴を発信していく
- ・日常的な活用を検討するべき
- ・らくさいマルシェをサブセンターで実施
- ・お祭り会場・発表会の場として利用したい

■交通アクセスの向上

- ・バス路線の変更などにより交通アクセスの向上を図ってはどうか。
- ・洛西にシェアサイクルが始まっており、サブセンターを巡ったり、大原野の方にも自転車でいけるようにする。

■「集い」機能の充実

- ・居場所づくりに利用できればよい。高齢者の「寄りたい」ニーズは高い。
- ・男性が来るような工夫ができればよい
- ・子どもの居場所づくり（雨天時にも遊べる）
- ・たまり場となる喫茶店が欲しい
- ・子どもが遊ぶ横でおっちゃんを楽しむような多世代交流の場に

■イメージアップ・改修

- ・建物の色の塗り替え
- ・住民による DIY 改修による愛着向上
- ・家紋を書いてもらう
- ・子どもが遊べる落書きできる壁の設置

■サブセンター同士、タウンセンターとの連携

- ・タウンセンターとサブセンターの両輪で協力することで活性化をめざす
- ・タウンセンターのポイントをサブセンターと共通化して使えるようにしてはどうか。
- ・サブセンター毎のテーマカラーを決めたり、建物の古いイメージを変えられるように DIY による地域参加型の再生プロジェクトを行ってみたいはどうか。